

<抽出・増幅試薬>
品番: GP-8100



<検出試薬>
品番: GP-8200



スィフトジーン肺炎マルチ5「カインス」 肺炎原因菌5種の遺伝子検出試薬キット

【発明の名称】「核酸クロマトグラフ法を利用した肺炎原因菌の検出方法」

【出願人】有限会社山口ティー・エル・オー

【発明者】山口大学大学院医学系研究科 教授 白井 睦訓

岐阜大学医学系研究科 教授 江崎 孝行

株式会社カインス 林 司、宇治家 武史、我那覇 誠、山本 茂一

【実施先】株式会社カインス

〒113-0033東京都文京区本郷2-38-18

http://www.kainos.co.jp/jp/products/products_06.html

お問合せは、学術部 TEL: 03-3816-4480へお電話下さい。

【概要】

肺炎は日本人の死因第3位(年間12万人以上)で、高感度で迅速に診断できる診断薬の開発が望まれています。

NEDO大学発事業創出実用化研究開発事業において山口大学、岐阜大学、カインスの3者で共同研究開発し、研究成果を山口TLOにて特許出願、カインスにより製品化されました。

本製品は、喀痰から抽出した肺炎原因菌の核酸(RNA)をNASBA法により増幅し、核酸クロマトグラフィーで簡易検出する試薬です。一度の試験で、肺炎の主な原因菌である肺炎球菌・インフルエンザ菌・マイコプラズマ・レジオネラ・クラミジアの5種を同時に検出することが可能です。核酸の抽出・増幅反応は、一定温度で行い、目視で判定できます。

将来的には肺炎の発症後早期に原因菌を簡便、迅速に特定でき、治療方法や抗菌薬の選択を正しく行うことにより、肺炎による死亡率を低下させることが期待できます。

特に高齢者の肺炎での死亡者数は年々増加傾向にあり、この成果は患者に大きなメリットをもたらすだけでなく、問題となっている医療費の削減に寄与する効果も期待できます。